

決起大会を開催しました

2026年2月21日(土)に行われた藤工業グループの決起大会を振り返ります。参加した社員の学びや意気込みから、皆さんそれぞれにとっての発見や気づきについても振り返る機会としていただきたく思います。



志村工業 佐々社長



境常務



藤田社長



中村本部長



宮田本部長

令和8年(2026年) 藤工業グループ年間目標

売上高
76億円
以上

営業利益
3.8億円以上
(約5%以上)

一人当たり
年間売上高
2,600万円
以上

第55期(2032年)の目標

目標売上高
100億円
以上

一人当たり
年間売上高
3,000万円
以上

取り組み内容

- ① 基礎ユニット鉄筋、溶接閉鎖型フープ、鉄筋・建て方工事等の既存事業の磨き込み・最大化
- ② 鉄筋工事、型枠工事(材料・手間)の一括受注
- ③ 高度外国人人材、特定技能2号の管理者育成
- ④ 同業他社、異業種との経営統合
- ⑤ 「選ばれる会社」から「指名される会社」へ

藤工業グループで働く皆さんへのお願い

- ・仕事に対して「ひた向きに」常に組織(集団)のことを考え、全力を注いでください。
- ・謙虚さと、感謝の心(思いやり)を常に持ってください。
- ・人に良かれの心(利他の心)を忘れないでください。
- ・人のために行動できる人になってください。
- ・誰に対しても中立の立場で平等で礼儀正しくあってください。
- ・常に自分(人格)を高め続ける努力を惜しまないでください。
- ・与えられた仕事、役割にたいして「熱意と情熱(燃える闘魂)」を持って取組んでください。

藤工業グループのあるべき姿「人に 幸せを 夢 実現企業」

藤工業グループの「志命」は、関わる全ての「人々の幸せ」の為にお客様に寄り添い「最高の満足」をお届けし、社員一人ひとりが「本気で語り」「本気で向き合い」、共に「挑戦・成長」し「地域に愛される No.1企業」を目指します。

- 絶対に諦めない(最後までやり通す)
- 本音でシェアする(自分からのコミュニケーション)
- 仲間の可能性を最大限引き出す(義理と人情)
- 自分と仲間の可能性に蓋をしない(信頼)
- 主体的に考え改善する(未来に向けて)
- 結果から逆算する(ゴールからプロセス)



各工場・工事部・グループ会社 決意表明



改善提案表彰



永年勤続表彰



新入社員紹介



無災害千日達成

参加した社員の学びや気づき

伊勢崎工場 工場長補佐 **萩原 史晃さん**

学びや気づき

仲間と同じ方向を向いて突き進むという力強さを実感しました。この状況が「当たり前ではない」という言葉から刺激を受け気持ちが引き締まりました。

今後の意気込み

社員一丸となり、互いに支え合いながら目標達成に向けて取り組んでいきます。

秋田工場 場内長 **小川 謙太さん**

学びや気づき

今年はクレーム発生が非常に多いという話の中で、堀工場長の非常に悔しいという言葉が自分の中で響き、藤工業全体のミス、クレームの無い製品づくりの意識を高めることができました。また、秋田工場の場内長としての自覚、重要性を再認識しました。

今後の意気込み

社長の熱い言葉を聞き、とにかく行動してみようと思いました。今までの自分は、失敗したらどうしようと思ってしまう性格だったので、失敗を恐れずに行動してみたいと思います。そして秋田工場をさらに盛り上げ、目標達成に向けて頑張りたいと思います。

3年間無災害工場に聞く、安全の心得

宮城工場

無災害継続の要因 従業員一人ひとりの強い意志。

仲間へのメッセージ

宮城工場は、どこよりも少ない人数で、常に程よい緊張感を持って作業しています。

第一工場

無災害継続の要因 毎日更新される無災害記録表を前に、朝礼にて安全作業で仕事を行うことを必ず発声しています。危険予測をして危ない所があればすぐに改善し、不安全行動をとらないこと。

今後の心構え

安全専一。怪我をしない、させないという気持ちを持ち続けます。

仲間へのメッセージ

明日も元気に働くために今日も無傷で家に帰りましょう。

第三工場

無災害継続の要因 社内で毎月行われている安全パトロールや、工場メンバーの日々の指摘や発信。

今後の心構え

今後も常日頃から「~かもしれない」など、予測し考え行動していきたいです。

仲間へのメッセージ

日々の安全を当たり前だと思わずに、これからも頑張っていきます。

伊勢崎工場

無災害継続の要因 安全(怪我をしてはいけない、事故を起こしてはいけない)という単純かつ意味が深い言葉を実習生まで浸透させるため、常に言葉にして伝えています。

今後の心構え

痛いのは自分と言いつつも、当り前のルールを当たり前を守ってもらえるよう心がけます。

仲間へのメッセージ

社員・実習生が怪我をすると家族に申し訳なく感じます。安全という2文字は、字では簡単に書いても、行うのは私一人では非常に難しいもの。だからこそ一人ひとりが気かけ合い、不安全行動をなくし災害0を目指さなければいけないと考えています。

基礎工事課

無災害継続の要因 一度大きな事故を起こしてしまってから、皆で話し合い安全への意識を常に持つようになったためです。

今後の心構え

これまで以上に小さな危険を見逃さないように、現場だけに囚われず整理整頓の徹底に努めます。

仲間へのメッセージ

自分のことはもちろん、仲間や相手が認識していると思込まず、声掛けの意識を共有していけると無災害は継続できると思います。

建設の魅力を次世代へ!

職場見学を開催しました



地元工業高校の皆さんを迎えて行われた職場見学。
未来の担い手たちに技術を伝える中で、運営を担当した皆さんが感じた手応えや、改めて気づかされた仕事の原点についてお届けします。

運営に関わった社員のコメント

はらめ けいた
原目 慶太さん

職場見学を終えての感想

生徒の皆さんは真剣に人の話を聞き、作業に取り組んでいました。そのひたむきな姿に、教えているこちらも自然と熱が入りました。

今回の経験での学びや発見

普段、当たり前のように行っている作業を初めての子たちにわかりやすく教えることも大切。しかし、日頃、ついつい作業を優先してしまいがちな点も踏まえ、まずは「安全第一」であることを再確認しました。

なかむら よしかず
中村 良和さん

職場見学を終えての感想

一人でも多くの方に、我々の業界へ興味を持っていただければ光栄に思います。皆さんが座学も真剣に聞いてくれたため、少々話し過ぎてしまいました(笑)

今回の経験での学びや発見

継続して、学生の皆さんへ、業界の面白さ、奥深さを発信していきたいと考えています。そして、建物を支える鉄筋の大切さを伝えていきたいと思っています。



たけはな しょうと
竹花 翔人さん

職場見学を終えての感想

少しでも鉄筋加工や鉄筋工事、または藤工業へ興味を持ってもらえればと思い、主催いたしました。

今回の経験での学びや発見

今の高校生にどのようなアプローチをすればよいのか、どうしたら興味を持ってもらえるかなど、改めて考えさせられた貴重な1日でした。

しおが かずよし
塩賀 和義さん

職場見学を終えての感想

高校の皆さんが初めて取り組んだ組み立て作業では、限られた時間の中でコツをつかみ、緊張しながらも組み上げたときの笑顔が印象に残りました。

今回の経験での学びや発見

できなかったことができるようになる、0から1へのステップが大事だと感じました。

ひらまつ よしえ
平松 佳恵さん

職場見学を終えての感想

作業体験でフープ筋の溶接をしてもらいました。皆さんの反応がとても初々しく、体験を通してこの業界に興味を持ってもらえたら嬉しく思います。

今回の経験での学びや発見

けがを防ぐために、危険行動や禁止事項について説明する中で、自分自身も安全に関する知識を再確認することができました。また、不意な質問にもすぐに答えられるよう、今後も知識をしっかりと身につけていきたいと思っています。



＼おめでとうございます！／
**日本語能力試験
合格者の紹介**



グエン カック グエン
NGUYEN KHAC NGUYENさん

取得した資格 日本語能力試験(N4)
私の学習方法 オンライン学習で勉強しました。
取得までの苦勞・大変だったこと 言葉を読んで理解することが大変でした。
今後の目標 より高いレベルで勉強を続けたいと思います。

藤田'S TIME

～藤田社長が語ります～

第49期スタートにあたって

2025年の漢字に「残」を挙げたように、昨年は課題が残る1年でした。しかし、立ち止まっている時間はありません。来年4月には創立50周年の記念式典を控えています。今年の干支である「丙午(ひのえうま)」は火の性質を持つと言われており、私自身も60歳の還暦を迎える年男です。この転換の年に、これまで以上に熱量の高い1年にしていかなければならないと強く感じています。



代表取締役社長
ふじた きよし
藤田 清志さん

創業50周年。その先の未来を見据えて

売り上げ100億円への挑戦

私たちは第55期に売り上げ100億円を目指すという目標を掲げました。現在のグループ全体の売り上げは約72億円で、あと7年で28億円を積み上げる必要があります。非常に高い目標ですが、国の制度活用を含め、私たちは今、周囲から大きく注目されるステージに立っています。この目標に向かって、確実な一歩を踏み出すときです。

建物の根幹を担う「多能工化」

28億円という数字は、現状の延長線上だけで積み上げられるものではありません。目標達成の鍵となるのが、**職種の枠を超えた「多能工化」**です。鉄筋工事を軸としていますが、建物は鉄筋だけでは建ちません。型枠、鳶、土工、電気、設備など、多くの職種が関わって完成します。これらすべてを自社で賄うのは難しいことですが、せめて建物の骨格となる**「スケルトン」の部分**は、**自社で施工できる体制を整えたい**と考えています。そのためには、1つの技術を突き詰めるだけでなく、一人ひとりが何でもできる多能工へと成長することが不可欠です。外部への研修派遣なども含め、会社として教育に投資し、新たなノウハウを積極的に取り込んでいくフェーズに入っています。

「1」を聞いて「10」を返す意識

技術の習得以上に重要なのが、「意識の改革」です。仕事において、言われたことを言われた通りに「1」返すだけでは、これからの成長はありません。私はかつて、先代が何を求めているのか、その先にはどんな情報が必要なのかを常に考えていました。皆さんにも同じように、一歩先、二歩先を考え、「1」言われたことに対して「2」や「10」で返せるようになってほしいのです。これは単なる作業の話ではなく、そこに自分なりの付加価値をつけてほしいという願いです。人間には五感があります。その「感じる力」を研ぎ澄まし、相手が何を意図しているのかを察知する。そうした感性を持つ人が、次の世代を担っていくのだと信じています。

管理者の熱量が組織を動かす

組織の成長には、圧倒的な熱量が必要です。その熱量を現場に伝播させるのは、工場長や管理者といったリーダーたちの「背中」です。部下は上司の背中をよく見ています。リーダーが下を向いては誰もついてきません。みんなが嫌がることを率先してやり、ときには体を張って部下を守る。そうした姿勢を見せることで初めて、「この人についていきたい」という信頼が生まれます。いずれは次の世代にバトンを渡すときが来ます。それまでは、風通しの良い環境の中で、お互いに意見をぶつけ合い、熱量を持って仕事に取り組んでほしい。第49期は、管理者一人ひとりが自立自走し、社員全員がスキルアップすることで、100億円企業への土台を固める1年にしていきたいと思います。

3月のお誕生日

お誕生日を迎える皆さん、おめでとうございます!

- 3/1 OYCO MARK ANTHONY UNTALAN さん
- 3/3 柴崎 邦子さん
- 3/5 石川 怜也さん
- 3/6 中島 悟さん
- 3/7 NGUYEN VAN HOANG さん
- 3/8 DE DIOS RIO JAY GENECERA さん
- 3/9 DIZON JOHNCEL PASUSTENTO さん
- 3/10 HOANG VAN TUAN さん
- 3/11 ESGUIRAN JOBERT CASTILLON さん
- 3/12 鈴木 英明さん
- 3/13 鈴木 将太さん
- 3/13 NGUYEN PHUC KHOI NGUYEN さん
- 3/14 TURBELA JOED REMADA さん

- 3/15 澤井 忍さん
- 3/17 NGUYEN VAN TU さん
- 3/19 永井 太郎さん
- 3/19 宮田 幸一さん
- 3/20 井原 翔真さん
- 3/22 大内 優さん
- 3/22 GALFO IAN LACHICA さん
- 3/23 小石 淳さん
- 3/24 GUINABO RAINIER JR JAPITANA さん
- 3/24 FEGIDERO ELIZALDE JR BAYLOSIS さん
- 3/25 菊池 宏典さん
- 3/26 田中 義貴さん
- 3/26 LO BA KIEN さん
- 3/27 原 順二さん
- 3/27 川崎 勇輝さん
- 3/27 石毛 隆之さん
- 3/29 原目 慶太さん
- 3/29 笠原 成晃さん
- 3/31 TRINILLA MARK CASABUENA さん



閲覧状況アンケートにご回答ください!